



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年8月10日

上場会社名 株式会社ライフドリンク カンパニー 上場取引所 東  
 コード番号 2585 URL https://www.ld-company.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 邦昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 新 敬史 TEL 06 (6453) 3220  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,209	-	742	-	734	-	509	-
2022年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	40.59	39.13
2022年3月期第1四半期	-	-

(注) 1. 当社は、2021年12月21日に東京証券取引所市場第二部に上場したことに伴い、業績開示を2022年3月期第2四半期より行っているため、2022年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2023年3月期第1四半期	17,332		6,426		37.1
2022年3月期	17,133		6,243		36.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 6,426百万円 2022年3月期 6,243百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	-	-	26.00	26.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期 (予想)	-	-	-	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	8.3	2,600	15.5	2,450	16.5	1,700	△26.7	135.45

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	12,550,500株	2022年3月期	12,550,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	一株	2022年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	12,550,500株	2022年3月期1Q	一株

(注) 1. 当社は、2021年12月21日に東京証券取引所市場第二部に上場したことに伴い、業績開示を2022年3月期第2四半期より行っているため、2022年3月期第1四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料については、決算発表後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、段階的な経済活動の制限の緩和や個人消費の持ち直しなど、平常化に向けた動きがみられました。しかしながら、資源価格の高騰や為替相場における円安進行を背景として、食料品の価格上昇が進行するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内飲料業界におきましては、前年対比での消費の回復があったものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前の水準には及ばず、また、原材料価格やエネルギー価格の上昇圧力もあり、厳しい状況にあります。

このような事業環境のもと、当社は「高品質で価格競争力を持った商品」の供給を強みとして、自社飲料各工場の設備更新・改良による生産量の拡大及び販売先の確保に努めてまいりました。また、同時に栃木工場内の新倉庫稼働に伴う物流関連費用の削減、EC/D2C※モデルへのチャレンジに取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の経営成績は売上高が7,209百万円、営業利益が742百万円、EBITDA(営業利益+減価償却費)が1,004百万円、経常利益が734百万円、四半期純利益が509百万円となりました。

なお、当社はドリンク・リーフ事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

※D2C:「Direct to Consumer」の略。消費者に対して製品を直接販売するビジネスモデルのことを指します。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は8,181百万円で、前事業年度末に比べて742百万円減少しております。これは、主に「現金及び預金」が1,222百万円減少、「受取手形及び売掛金」が479百万円増加したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は9,151百万円で、前事業年度末に比べて941百万円増加しております。これは、主に「建物」が1,260百万円増加、「機械及び装置」が796百万円増加、その他に含まれている「建設仮勘定」が884百万円減少したことによるものであります。

#### (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は7,973百万円で、前事業年度末に比べて253百万円増加しております。これは、主に「短期借入金」が500百万円増加、「未払法人税等」が270百万円減少したことによるものであります。

#### (固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は2,932百万円で、前事業年度末に比べて236百万円減少しております。これは、主に「長期借入金」が153百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は6,426百万円で、前事業年度末に比べて182百万円増加しております。これは、主に「四半期純利益」の計上に伴い「利益剰余金」が509百万円増加、配当金の支払いに伴い「利益剰余金」が326百万円減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,894	2,671
受取手形及び売掛金	3,058	3,537
商品及び製品	1,099	957
仕掛品	101	95
原材料及び貯蔵品	626	550
その他	172	398
貸倒引当金	△30	△31
流動資産合計	8,923	8,181
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,522	2,783
機械及び装置（純額）	1,775	2,572
リース資産（純額）	1,059	963
その他	2,289	1,404
有形固定資産合計	6,646	7,723
無形固定資産	60	56
投資その他の資産	1,503	1,371
固定資産合計	8,210	9,151
資産合計	17,133	17,332

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,039	1,261
短期借入金	3,500	4,000
1年内返済予定の長期借入金	600	603
未払金	1,282	1,176
未払法人税等	387	116
賞与引当金	44	22
役員賞与引当金	10	—
その他	857	793
流動負債合計	7,720	7,973
固定負債		
長期借入金	2,535	2,381
その他	634	550
固定負債合計	3,169	2,932
負債合計	10,889	10,905
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,045	1,045
資本剰余金	1,228	1,228
利益剰余金	3,969	4,152
株主資本合計	6,243	6,426
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	△0
評価・換算差額等合計	0	△0
純資産合計	6,243	6,426
負債純資産合計	17,133	17,332

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	7,209
売上原価	4,054
売上総利益	3,155
販売費及び一般管理費	2,413
営業利益	742
営業外収益	
受取利息及び配当金	0
為替差益	2
受取補償金	4
その他	0
営業外収益合計	6
営業外費用	
支払利息	11
支払手数料	1
その他	1
営業外費用合計	14
経常利益	734
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税引前四半期純利益	734
法人税、住民税及び事業税	95
法人税等調整額	129
法人税等合計	224
四半期純利益	509

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期財務諸表に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行)

当社は、2022年6月28日開催の取締役会において、以下のとおり、譲渡制限付株式報酬として新株式発行を行うことについて決議し、2022年7月28日に払込手続が完了いたしました。

1. 発行の概要

(1) 払込期日	2022年7月28日
(2) 発行する株式の種類及び株式数	当社普通株式 9,140株
(3) 発行価額	1株につき1,750円
(4) 発行価額の総額	15,995,000円
(5) 資本組入額	1株につき875円
(6) 資本組入額の総額	7,997,500円
(7) 株式の割当の対象者及びその人数 並びに割り当てる株式の数	当社の監査等委員でない取締役 2名 6,856株 当社の監査等委員である取締役 3名 2,284株
(8) 支給方式	無償交付方式

2. 発行の目的及び理由

当社は、2022年5月27日開催の取締役会において、将来選任される取締役も含め、当社の取締役(監査等委員である取締役を含む。以下「対象取締役」といいます。)に、当社の企業価値の持続的な向上、及び対象取締役と株主との一層の価値共有を進めることを目的に、中長期的なインセンティブとして、譲渡制限付株式報酬制度を導入することを決議し、また、2022年6月28日開催の第50期定時株主総会において、本制度の導入について承認を得ております。